

建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び
石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル

令和3年3月

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課

環境省水・大気環境局大気環境課

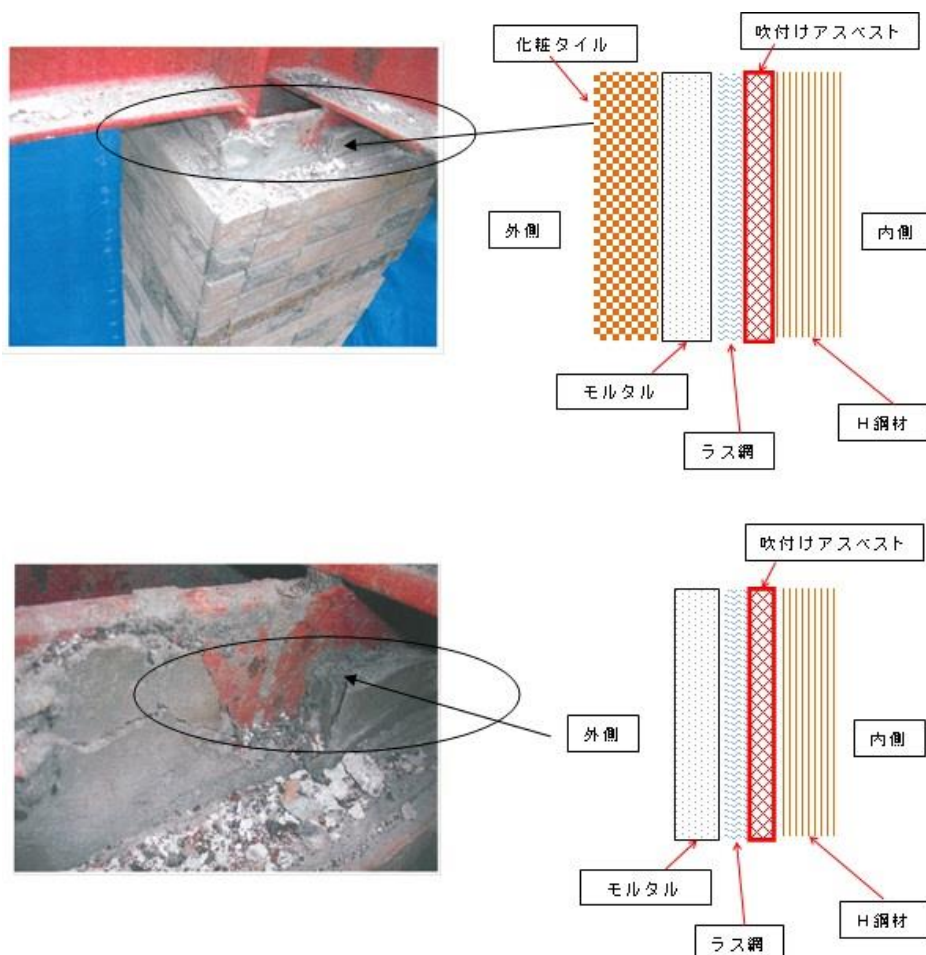
参考資料

- (1) 事前調査を実施中の記録 I -29
- (2) 事前調査結果報告書の例 I -33
- (3) 石綿含有みなしに使用できるツール I -46
- (4) 書面調査で参照する書類の例 I -52
- (5) 現地での目視調査での建材情報の読み取り I -54
- (6) 見落としやすい例 I -56
- (7) よく使われている箇所 I -61
- (8) 建材中の石綿含有分析の概要 I -62

(6) 見落とししやすい例

次のように内装等の内側に石綿建材が隠れている例や、一区画のみ石綿建材が使用され見落とししやすい例がある。

- ・ 内装仕上げ材（天井ボード、グラスウールやセメント板等）の下に石綿含有吹付け材が存在する例（過去の囲い込み工事等による）
- ・ 石綿含有吹付け材の上からロックウール（石綿含有無し）が吹き付けられる例
- ・ 耐火建築物、鉄骨梁への耐火被覆吹付けロックウール施工時に他部材へ吹きこぼれた例（または、これらを見落とし、天井上吹付けロックウール等の脱落・堆積物を見逃す例）
- ・ 鉄骨造の柱・梁に石綿含有吹付け材が存在しその内装仕上げ材としてモルタル等が使われている例
- ・ 鉄骨造の柱に吹き付けられた石綿含有吹付け材の周囲をブロック等で意匠的に囲われている例（（参考資料）写真6-1）



(参考資料) 写真6-1 鉄骨造の柱の石綿含有吹付け材

- 天井の一部に仕上げ材（意匠）として石綿含有吹付け材が使用されている例
- 鋼板の仕上げ材の裏打ちとして石綿含有ロックウール等が吹き付けられている例
- 準耐火建築物の、防火区画、異種用途区画などのために、建物全体の主要構造部（柱、梁、床、階段）の耐火被覆ではなく、建物の一部分の主要構造部（柱、梁、床、階段）に耐火被覆として石綿含有の吹付け材を使用している例
- RCの内壁に青石綿が吹き付けられ（想定：改修時など）その上にラス網を張りモルタル＋プラスター塗り仕上げが行われている例（（参考資料）写真6－2）
- 敷居のない大フロアで奥の1区画のみ石綿等が吹き付けられている例



（参考資料）写真6－2 壁の中に青石綿が吹付けられた例

- 煙突内部が綿状ではなく、成形板の形状の断熱材を見間違える例（（参考資料）写真6－3，4，5）
- 煙突用断熱材の調査における注意点として、昭和52（1977）年より、ライナー層と断熱層の二重構造となったため、一見すると、スレート管があるだけで、断熱材はないものとして見落としがちである。内部に断熱材がないか確認することを忘れてはならない。
（昭和39（1964）年以降煙突用断熱材が存在するが、昭和52（1977）年までは、断熱材が露出した施工方法であるため、目視による確認がしやすい。）
 - （カポスタック）アモサイトフェルト状とライナー付き二重構造製品がある。
 - （ハイスタック・パールスタック）ライナーだけの煙突断熱材があることも見逃してはならない。
- 外装（外壁や柱）のボードや金属パネルの内側に耐火被覆板が使用されている例
- 外壁とコンクリート床の取り合い（上階と下階を区画する）の層間塞ぎとして詰められモルタル等で仕上げられている例
- 防火区画の貫通部（給排水及び電気設備）に石綿含有吹付け材等の石綿含有建材が使用されている例（（参考資料）写真6－6）



(参考資料) 写真6-3 ハイスタック
煙突断熱材



(参考資料) 写真6-4 ハイスタック
煙突用断熱材 (2分割)

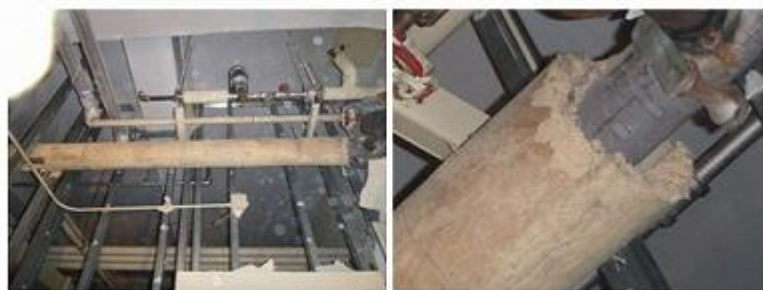


(参考資料) 写真6-5 ライナー付き
カポスタック煙突断熱材



(参考資料) 写真6-6 電気配線部分
隙間閉鎖

- ・ 石綿含有吹付け材が使用された機械室や地下フロア等が用途変更により石綿含有吹付け材が使用された天井等が天井ボード等で仕切られている例
- ・ 防耐火構造認定にあるように、壁・天井・柱等に、下地構造にもよるが複層板や同種成形板の複層張り、また、異種成形板の複層張りが存在する例
- ・ 階段裏の石綿含有の建材をプラスチックシートで養生の上、岩綿吸音板で張仕上げをしている例
- ・ 配管保温材のエルボー部のみならず、直管部に石綿含有保温材が使われていた例 ((参考資料) 写真6-7)



綿テープ類を剥した処すべてに練り保温材が施工されていた。

(参考資料) 写真6-7 直管部分にも使われる配管保温材

- ALC 板の層間塞ぎにロックウール充填が図面に指示され、充填忘れもしくは外れている状況（（参考資料）写真 6－8）などがある。近くにはファスナー部の耐火被覆を見ることができが非常にわかりづらい例（（参考資料）写真 6－9）である。
- 玄関のひさしの中、ガラリ内（結露防止や震動音防止のため）、シャフト内、パイプスペース、カーテンウォール裏打ち（（参考資料）写真 6－10）
- 目の高さでない非常に細部のキャンバス継ぎ手（（参考資料）写真 6－11）、機械室、最上階天井裏スラブ、防火壁の欠き込み部分変電器裏の見えない部分に石綿等が吹き付けられている例



（参考資料）写真 6－8 スラブ層間塞ぎ
充填材なし



（参考資料）写真 6－9 ファスナー
耐火被覆



（参考資料）写真 6－10 カーテンウォール
裏打ち断熱材



（参考資料）写真 6－11 キャンバス継ぎ手

- けい酸カルシウム板第 2 種は、多くは耐火被覆として使用されている（（参考資料）写真 6－12）（施工中）があるが、表面は塗装したり化粧紙を貼っているために、外部からでは分かりにくい場合がある。なお見落とししやすい例ではないが、学校の教室、廊下の柱にけい酸カルシウム板第 2 種が使われた例（（参考資料）写真 6－13）



(参考資料) 写真 6-12 けい酸カルシウム板第 2 種を耐火被覆として使用している例
(この施工例は石綿含有なし製品)



(参考資料) 写真 6-13 鉄骨造校舎 教室・廊下の柱 長年の接触により欠損している

- ・ 外壁などの外部、サッシ廻り・目地のコーキング剤、煙突、屋上ルーフィングなどに留意する。
- ・ システムキッチンのシンク裏側に防音塗料が使っておりアスベストが含有している例
- ・ 観客席天井仕上げの下地リブラス張りに吹き付けられた石綿の一部が、リブラスの編み目を通り抜けるなどして、吊りボルトや金物、天井建材などにも付着・堆積している例
- ・ 梁をモルタルで仕上げられた際に、天井に吹き付けられた石綿をモルタルが噛み込んでいて、その部分の除去が漏れている例